

# 埋文よこはま 10



財団法人 横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター 平成 16 年 11 月 15 日発行

## 西の風・東のいぶき

—北川貝塚の土器にみる縄文人の交流—

### 縄文土器と貝塚

縄文土器は一万数千年前に成立した素焼きの器で、いわば焼きものの“元祖”です。多くの人々の工夫によってさまざまな形が生みだされ、器面には大胆かつ流麗な文様がつけられました。精巧でバランスのとれたその美しさは、世界の先史土器の中で、もっとも個性的なひとつです。

加えて数千年という“時間”が経過しており、そこにロマンを感じる人も少なくありません。大量生産品が満ちあふれた今日、その対極にある縄文土器は、現代文明が失なった“何か”をもっているのです。

氷河期が終わって気候が温暖化すると、標高10m以下の低地には海が進入しました。入海の代表が江戸川河口の浦安から、栃木県南端の渡良瀬遊水池にいたる、南北70kmの「奥東京湾」です。もうひとつが利根川の河口から、北浦・霞が浦・印旛沼をふくみ、茨城県南西端にいたる東西80kmの「古鬼怒湾」です。房総半島は二つの海に囲まれ、九十九里浜は大きな湾となりました。

真水と海水がまじる入海は栄養が豊富で、魚貝類の繁殖に適しています。これらを食料とする縄文人たちは、海沿いの丘にムラをつくり、多数の貝塚が残されました。関東地方は、日本最大の貝塚密集



西の土器 1



遺跡の場所

地です。

鶴見川の下流域は「古鶴見湾」となり、早瀬川沿いには、北川・境田・茅ヶ崎・西ノ谷・南堀・高田・箕輪などの貝塚があります。その後この地域には、神隠丸山・大熊仲町などの墓地をもつ大規模なムラがつくられました。

### 北川貝塚の調査

北川貝塚は港北ニュータウンの東のはずれ、都筑区早瀬三丁目にありました。そこは第三京浜道路都筑インターの北側で、東急バス「北川」停留所の周辺一帯です。

北に早瀬川をのぞむ標高25mの丘は、古くから「貝殻畑」とよばれていました。昭和初期から考古学研究者が土器や石器をひろい、貝層のある竪穴住居を発見しました。

東京オリンピックの1964年、ここを第三京浜道路が通ることとなり、神奈川県立博物館（現神奈川県立歴史博物館）が発掘し、縄文時代前期の竪穴住居2軒を見つけました。

港北ニュータウン建設のため、1980～83年に第三京浜道路の西側を発掘したところ、旧石器が出土し、縄文・弥生～古墳・平安時代の大規模な集落址とわかりました。

1993年には第三京浜改築のために道路東側を調査し、旧石器時代～近世の全時期にわたることを確かめました。

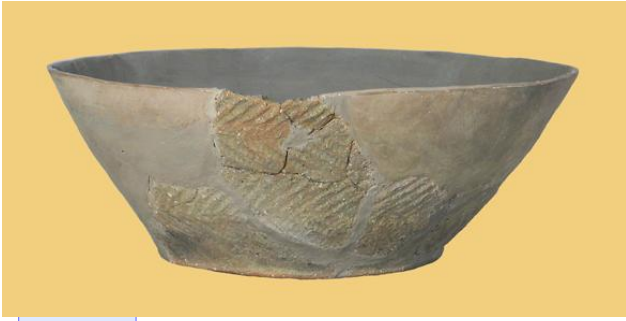
### 西日本系の土器

北川貝塚の縄文時代住居は71軒見つかри、うち前期は27軒あります。前期住居群の中心はJ25・26号で、いずれも大きく、何回かたて直されています。



中部山岳系の土器が出土した住居

土器 1 は J 26 号



西の土器 2

から出土し、ほぼ全体が残っています。大きさ34cm・高さ24cmで、内湾する口縁の上に、小さな突起がたくさん並んでいます。上半部は大きく開き、胴はすぼまり、下部はソロバン玉のような形をしています。文様は、上半部は縄紋の上に粘土ひもで装飾（円・平行線）を加え、下半部は平行線の間に羽状縄文（縄文の並びが上下で異方向）をつけています。

上半部の形や文様は、三浦市諸磯貝塚が基準の諸磯b式です。しかしこの時期の下半部がふくらむ土器は、関東地方に例がありません。それは日本海岸の福井県鳥浜貝塚にあり、岡山県羽島貝塚を基準とする羽島下層2式の特徴です。つまり1には関東（上半部）と、西日本（下半部）という二つの要素が見られるのです。

土器2は底部付近のみで、底の大きさ14cm・高さ10cmあります。平底は丸みをおび、ふちが少し出っぺっています。胴部には1と同じ羽状縄文がつけられ、厚さは4mmしかありません。薄手で、焼きの堅いことが特徴です

これは京都の北白川遺跡が基準の北白川下層2式で、西日本の土器そのものといえます。港北区の下田東貝塚からは、戦前にこの型式の好例が発掘されています。

#### 東関東系の土器

この土器は、墓穴とみられるJ20号土坑から出土し、一部が欠けています。大きさ28cm・高さ34.5cmあり、厚手の土器です。口縁には上向き耳形の把手が4個あり、その下に横向き半円形の把手が1個と2個、交互につけられています。

胴上部は段があり、その縁に横向きT形の把手が上向き把手の中間につけられています。把手間や胴部は刻みをもつ隆線をつなぎ、線の間は連続的に刺突されています。なかなか立体的で、複雑な文様構成となっています。

もうひとつの特徴は、胎土に金色の雲母がふくまれていることです。これは関東地方の縄文時代中期前半の土器に共通していますが、東関東ではとても目立ちます。

この土器は茨城県霞ヶ浦畔の阿玉台貝塚が基準の阿玉台式で、いわば「古鬼怒湾」の土器といえましょう。この時

期の西関東には相模原市の勝坂遺跡を基準とする勝坂式があり、北川貝塚では両方がみられます。

#### 中部山岳系の土器

縄文時代中期の住居は42軒あり、

北川貝塚では最大規模です。中央部は掘立柱建物と墓地が、南部が住居群です。

中部山岳系の土器は、第三京浜道路の敷地に接するJ71号住居から出土しました。調査した住居の西半分にはヤマトシジミの厚い貝層があり、下の床面に成人が埋葬されていました。

この土器は下半部の大半が失なわれ、口径44cm・高さ45cm前後あります。口縁部は内湾し、上半部・下半部とも丸みをおびています。上半部には沈線による上向き半円形の文様が10単位つけられています。くびれ部には幅広の隆線をめぐらし、丸棒の先端を上下交互に押しつけてジグザグの帯としています。

下半部にはたて方向に沈線を引き、そこに隆線を2本単位で垂下させています。隆線の一組は直線をなし、指先を



東の土器



中部山岳系の土器

斜めに押しつけて凹凸としています。もう一組は向かい合うように、ゆるく蛇行しています。この二組が交互につけられますが、正面右側のみは凹凸の方が1本です。

このような沈線と隆線でかざられた土器は、長野県曾利遺跡を基準とする曾利式です。この時期の関東では縄文のある加曾利E式が中心で、それと一緒にもちいられています。このタイプの土器は、底に穴をあけて人骨を入れる「土器棺」としても使われました。曾利式の中心は長野・山梨県にあり、まさに中部山岳系の土器といえます。

### 山や海をこえて

関東平野の南西部に位置する横浜の地には、はるかな昔から、遠い地方と交流がありました。旧石器時代は涼やかな気候の中で、針葉樹の疎林や草原が広がっていました。そこにすむケモノたちを倒すため、人びとは東北地方の頁岩や八ヶ岳の黒曜石で、鋭いナイフを作りました。えもの処理や調理には、相模川な



縄文時代の交流は広い範囲にわたっていた

どの河原石が使われました。

縄文時代になるとシイ・カシなどの照葉樹、どんぐりの実る落葉広葉樹林となりました。海や川が広がって丸木舟が発達し、広い地域の交通や漁労に使われました。この時期は、八丈島の耳飾り・神津島の黒曜石・北陸のヒスイなどが横浜へ伝わってきました。称名寺・青ヶ台貝塚の骨製漁撈具も、東北地方などとの交流を示すものでしょう。

土器もこうした“交易ルート”によって、本州中央部の各地を移動したものとされます。2のように土器そのものもたらされる場合も、その他のように器形や文様が伝わってくる場合も、背後には当時の人々の動きがあります。材料の入手と技術の伝播は、別々のものではないのです。

北川貝塚人の行動範囲は思いのほか広く、本州の中央部を駆けめぐっていたようです。澄んだ青空の下を行く彼らには、緑におおわれた山野が暮らしの基礎でした。波の荒れ狂う海にのり出し、漁をつづけた日もあったでしょう。

さまざまな困難に立ち向かった人々がいて、今日の私たちがあります。土器にたくされた縄文人たちのメッセージを、私たちと一緒に読んでみようではありませんか。

### ◆催しもののご案内◆

#### ◆「横浜の遺跡展－華麗な縄文土器の世界－」

港北ニュータウン地域の遺跡群の中から、中期の良好な集落である高山遺跡と前高山遺跡の遺構や遺物を展示し、縄文時代の社会が最も栄えた中期文化の一端を紹介します。

会 期 平成16年12月11日(土)から平成17年1月16日(日)まで

会 場 横浜市歴史博物館企画展示室

「平成16年度横浜市指定・登録文化財展－指定された薬師仏－」と同時開催

観覧料 無料

研究講座 「高山遺跡と勝坂式土器の世界」

講 師 石井 寛 ((財)横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター調査研究員)

期 日 平成17年1月9日(日) 午後2時から3時30分まで

会 場 横浜市歴史博物館講堂 定員170人

参加費 500円(資料代)

#### ◆「海・里・ひと・祈り－磯子・金沢の遺跡－」

磯子区の三殿台遺跡、杉田東漸寺貝塚、金沢区の青ヶ台貝塚、称名寺貝塚、称名寺苑池などをとりあげ、縄文時代から中世までの遺構と遺物をもとに、遺跡の内容とそこに暮らした人びとの生活の様子を紹介します。

会 期 平成17年2月1日(火)から2月20日(日)(ただし2月7日を除く)

会 場 横浜市社会教育コーナー(磯子区磯子3-6-1)

観覧料 無料

研究講座 「磯子・金沢の埋蔵文化財」

講 師 石井 寛 ((財)横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター調査研究員)

期 日 平成17年2月13日(日) 午後2時から3時30分

会 場 社会教育コーナー研修室 定員80人(先着順)

参加費 無料

体験教室 「勾玉作り」・「拓本体験」・「土器復元に挑戦」

期 日 2月6日(日)・12日(土)・20日(日) 勾玉作りは各日2回(午前10時・午後1時)

拓本体験・土器復元に挑戦は各日1回(午後3時)

会 場 社会教育コーナー研修室 定員各体験・各回15人(先着順)

参加費 無料

関連パネル展示

それぞれの区役所で区内所在の遺跡を紹介するパネル展示を行います。

◇磯子区の遺跡

会 場 磯子区役所区民ホール

会 期 平成17年1月13日から1月19日

◇金沢区の遺跡

会 場 金沢区役所

会 期 平成17年2月1日から2月10日

行ってみよう!

## 三ツ沢貝塚

神奈川県横浜市神奈川区  
三ツ沢東町・三ツ沢南町



### マンローと三ツ沢貝塚

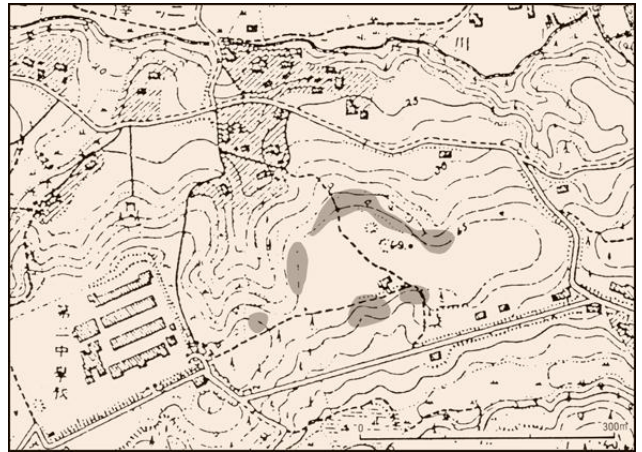
いまの県立横浜翠嵐高等学校の東にある台地に一人の外国人が立っていました。その名をニール・ゴードン・マンローといいました。時は明治38(1900)年6月。彼はアイヌ人種に関心を持っていて、日本列島に大昔からアイヌが住んでいたと考えていました。それを貝塚から出る人骨によって証明しようと、貝塚のある台地のあちこちにトレンチ(発掘溝)をいれました。発掘した面積はかなりな広さでした。調査期間は3か月に及びました。その結果人骨5体分を得て、彼は頭蓋骨を調査しアイヌのものとなりました。また竪穴住居の柱穴・炉・壁などを発見しました。



N.G.マンロー

### 三ツ沢貝塚について

三ツ沢貝塚は神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢東町、三ツ沢南町にまたがっています。南側と北側に谷をもつ東西に細長い標高30mの台地に立地しています。この台地の縁辺部から斜面にかけて数か所の貝塚が分布しています。縄文時代後期の堀之内2式土器を主体に、その前後の時期の土器が出ていますので、その頃のものです。貝層は厚いところでは約1mをはかります。平均的には30~40cmほどです。貝は八



三ツ沢貝塚の貝層(大正10年)

マグリ・カガミガイ・シオフキ・アカニシなどが出ています。海に棲む貝類です(純鹹貝塚)。三ツ沢貝塚のある台地も住居やマンションが建てられ、昔日の姿はなく、家屋や道路の下に部分的に貝層が残っていると思われます。

### 三ツ沢貝塚への行き方

横浜市営地下鉄の三ツ沢上町駅で下車し、改札口を左に進んで地上に出ます。そこを左手に行くとせせらぎ緑道があり、これを進むと、県立横浜翠嵐高等学校へ行く幅広い道路に出ます。右折して、道なりに上ると高校の東側に出ます。左に歩くと高校の南西角の校門に出て、そこに横浜市教育委員会が建てた三ツ沢貝塚の案内板があります。来たほうにもどり、右手に曲がると三ツ沢貝塚の台地の中央を通る道に出ます。この道の左右に目を凝らして歩くと貝殻が散っていることがあります。道なりに進むとT字路に出て、これを左に曲がり、さらに右に行くと横浜松ヶ丘郵政宿舎に出ます。ここまでが三ツ沢貝塚の範囲です。



案内板

### 埋蔵文化財センターのご案内

出土品や整理作業のようすを見学できます(予約が必要です)。埋蔵文化財や歴史に関する質問も歓迎します。

開所: 午前9時~午後5時。土・日・祝日休み。

交通: 東横線「綱島駅」より東急バス1番乗り場「勝田折返所」行終点。田園都市線「江田駅」より東急バス「綱島駅」行「勝田」下車。

ホームページアドレス  
<http://www.rekihaku.city.yokohama.jp/maibun/index.html>

\*「埋文よこはま」は、横浜地域で発掘調査された遺跡や出土した遺物を紹介する広報紙です。

### 埋文よこはま 10

発行日 2004年11月15日

編集・発行 財団法人横浜市ふるさと歴史財団

埋蔵文化財センター

〒224-0034 横浜市都筑区勝田町760

TEL 045-593-2406

FAX 045-593-2403